

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873700441
法人名	医療法人青峰会
事業所名	アクティブライフ保内
所在地	愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地324番地
自己評価作成日	平成23年8月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年9月6日（火）

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭菜園では、季節折々の野菜を育て収穫して食卓に出している。</li> <li>・拾い中庭にも四季折々の花を育て利用者や水遣りをし鑑賞したり生け花をたのしんでいる。</li> <li>・中庭に5本のブルーベリーを植樹しており夏になると収穫したべている。</li> <li>・毎月のホーム新聞を発行しており利用者さんの日頃の生活を家族さんに報告している。</li> </ul>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>地域行事等には積極的に出かけておられ、8月には地域の盆踊りや夏祭り等にも出かけられた。又、地域の清掃活動や防災訓練等、地域の方達とともに活動されて、改めて協力し合ったり、理解し合うことの大切さを感じられたようだ。地域の高等学校の職場見学を受け入れておられ、学生は、利用者やゲームをしたり、歌を歌って過ごされ、利用者の生き生きとした姿もみられた。学生の中からは「介護職に就きたい」という希望も聞かれたようだ。事業所の食事の材料は、地域にあるスーパーに配達してもらっており、利用者も一緒に受け取る等、店員の方と顔なじみとなっている。</p> <p>市の担当者は、敬老会やクリスマス会等、事業所の行事に参加してくださることもあり、利用者の暮らしぶりを見てくださっている。最近では、多くの方が運営推進会議に参加してくださるよう日程等について相談された。これまでは、平日の開催であったが、現在は、ご家族や地域の方の予定等を考慮して、土曜日の午後の開催とされ、市の担当者の方も出席して下さっている。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 アクティブライフ保内

(ユニット名) A棟

記入者(管理者)

氏名 篠原 初美

評価完了日 23年 8月 20日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 平成20年に新理念を作成したが、十分な活動とはいえない が地域の方との触れ合いをもてるようスタッフ間で共有し実 践に繋げている。	
			(外部評価) 平成20年に、すべての職員で意見を出し合い、「地域 家族 ホーム間における相互のふれあいを大切にし、笑顔あふれ るその人らしい生活を支援する」と、事業所理念を作成され た。理念は、事務所や各ユニットの出入り口に掲示されてお り、管理者は、「その人らしい生活を支援する」ことについて、 職員に利用者主体のケアの大切さを話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 日常的には充分とは言えないが回覧板や地域の方々から のお声かけで地域行事(奉仕作・地域防災訓練など)可能な 利用者との参加に努めている。	
			(外部評価) 地域行事等には積極的に出かけておられ、8月には地域の 盆踊りや夏祭り等にも出かけられた。又、地域の清掃活動や 防災訓練等、地域の方達とともに活動されて、改めて協力し 合ったり、理解し合うことの大切さを感じられたようだ。地域の 高等学校の職場見学を受け入れておられ、学生は、利用者 とゲームをしたり、歌を歌って過ごされ、利用者の生き生きし た姿もみられた。学生の中からは「介護職に就きたい」という 希望も聞かれたようだ。事業所の食事の材料は、地域にある スーパーに配達してもらっており、利用者も一緒に受け取る 等、店員の方と顔なじみとなっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) ホーム内の利用者の支援で精一杯なところが多く地域の人 に向けての支援には乏しい。少しでも地域貢献に向けて出 来ることから始めていきたいと思う。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施設の見学をして頂いたり サービス内容の報告を行い それに対する助言やご意見を頂き 会議での意見は スタッフ会で報告し今後のサービスの向上に努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議時には、メンバーの方達に事業所内を見学していただき、設備や利用者の生活の様子を知っていただいた。メンバーの方からは「地域と事業所の相互理解のためにも、事業所の見学会を企画して、回覧板で案内してはどうか」という提案もいただいております。現在検討しているところである。又、「事業所の看板が小さい」という意見もあり、さっそく、玄関脇の壁に、2ユニットそれぞれの入り口が分かりやすいように、木製の大きな表札をかけられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市への提出物などは速やかに提出したり 定期的なGH連絡会議の参加に努め 情報交換を図り 質の向上に努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者は、敬老会やクリスマス会等、事業所の行事に参加して下さることもあり、利用者の暮らしぶりを見てくださっている。最近では、多くの方が運営推進会議に参加して下さるよう日程等について相談された。これまでは、平日の開催であったが、現在は、ご家族や地域の方の予定等を考慮して、土曜日の午後の開催とされ、市の担当者の方も出席して下さっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしないケアの実践に向けてスタッフは勉強会に参加したり、また 玄関のチャイムを設置し 見守りに強化している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>「家に帰る」と荷物をまとめて、出かけていくような利用者もいるが、職員は止めることなく、ご本人に付き添って支援されており、調査訪問時にも、玄関のチャイムが鳴ると、職員が確認されて、利用者が出かける後からそっと付き添って出かけて行かれる様子がみられた。時々、ご家族に電話してお話することでご本人の気持ちが納得するよう方もあり、ご家族とも相談しながら対応されている。ベッドからの立ち上がり時に転倒する心配がある利用者には、センサーを設置して、立ち上がり時には職員が見守るようにされている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 附帯施設の勉強会、研修会に参加し学ぶ機会を持っている。特に言葉の暴力、無言の暴力には注意を払っている。ただ利用者の自宅までは把握できていない。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や勉強会で学ぶ機会は設けられているが現時点ではこの制度を必要とされている方がいない為話し合いはしていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、管理者から十分な説明をしている。不安や疑問点に対しては丁寧な回答に努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の面会時には、意見や要望を伺いコミュニケーションに努めている。その後はスタッフ会業務日誌、また申し送りなどを活用し職員間で改善に努めている。  (外部評価) 事業所便り「ブルーベリー」では、運営推進会議の内容を報告されたり、地域の方達との交流の様子を伝えておられる。毎日、夕食の介助に来てくださるご家族や運営推進会議や行事等に参加して下さるご家族もいる。ご家族の来訪時、職員は、あいさつすることを心がけ、利用者や事業所の様子を伝え、ご家族のケアへの希望等を聞くようにされている。今後さらに、足遠いご家族からも事業所のサービス等について具体的に意見や要望をうかがえるよう、事業所からの働きかけを工夫されてみてはどうだろうか。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のスタッフ会や年に2回の管理者との面接で意見や提案を聞く機会は設けられているが 必ずしも全てにおいて反映させているわけではない。	
			(外部評価) 管理者は、記録の書き方や意識統一のため、時をみながら職員と話す機会を設けておられる。職員のアイデアでテラスにゴーヤを植えて、日よけのグリーンカーテンを作っておられ、利用者と実の収穫を楽しまれたり、食卓に上っている。又、職員は、利用者の状態に応じて浴室に手すりを付けることを提案されて、設置されていた。緊急の避難経路の確保や利用者が日常的に外に出て楽しめるよう、居間から中庭に出られるようにスロープの設置も提案されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格取得、勤務数 勤務態度などによつての登用規定はある。半年に1回各自の目標を立て評価も行っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修は事務所に案内を置き希望があれば参加している。内部勉強会は参加可能なスタッフが参加している。附帯施設の勉強会は交代での参加をしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 市が主催している会議や研修会に参加したり交流の機会を設けている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問や面会等で本人さんの要望や不安があれば耳を傾け信頼関係に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所前の見学や事前面接などで ご家族の質問や要望やしっかりと聞き入れ関係作りにつとめている。また本人の近況報告などもするようにスタッフ全員で努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所される大半が母体からの紹介となっておりサービス内容を決定した段階では既にホームに入所されている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一緒に生活するという意識を大切にし日々の作業などの中でコミュニケーションを取りながら共に参加し関係づくりにつとめている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の面会を大切に また利用者さんの近況状況を報告したり 直接電話で利用者さんと会話したり家族との絆を第一にかんがえている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの友達や知人の面会でゆっくりと居室で過ごしていたり住み慣れた場所へスタッフと共にドライブに行ったりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者からは「住んでいた所に行ってみたい」との希望が多くあり、時をみながら職員と出かけられるよう支援されている。ご家族と行きつけの美容院を利用される方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるような支援に努めている	(自己評価) 出来るだけ利用者さん間の関係や性格を把握し 孤立しないようにスタッフが仲介に入り 共に支えあえるよう日々努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約解除後は殆んどが関係性が無くなってしまいが 家族からの要望などがあれば 支援に努めます。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者さん一人一人の思いや希望 家族さんからの情報などスタッフ間の意見などから 把握に努めている。 (外部評価) 日々の会話やご家族からの情報、又、テレビを見ながら、お若い頃のことをお聞きして、利用者個々のこれまでのことを知り得ることに努めて、センター方式を用いて情報収集に取り組んでおられるところである。利用者が折にふれて手を合やすのを見て、職員は、「観音様を見に行ってみてはどうか」と提案され、計画中であった。	今後、利用者主体のケアが実践できるようアセスメントを充実されて、「笑顔あふれるその人らしい生活を支援する」ことにつながっていかれてほしい。ご本人の社会性等、資源を活かしながら生活を続けていけるよう、アセスメントに取り組んでいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人さん 家族さんからの情報で、アセスメントシートを出来るだけ活用し 情報の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 朝夕の申し送り 記録、日々の関わりの中で現状の把握に努めている。利用者の様子を観察しながら 特定の人だけを重視せずコミュニケーションを大切にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族、本人さんの意向を聞き入れ介護計画に反映し課題やケアのあ</p> <p>(外部評価)</p> <p>これまでの利用者の暮らしを続けられるような支援に努めておられる。土いじりが趣味だった利用者には、事業所でも土に触れながら暮らせるように具体的に計画が立てられている。毎日の記録の上段には、毎回ケアプランを書き込めるように、欄を設けておられ、職員が毎ページ記入することで計画の目標を共有して取り組めるようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録に日々の様子を記録し、情報を共有しながら確認、実践や介護計画の見直しを話しあっている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人さんや家族さんが望まれる生活ができるように、要望などがあれば可能な限りの支援に努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>中高生の職場見学、体験などの受け入れや さわやか相談員の訪問など 今後もより多くの地域資源との協働に努めていきたい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 主治医の定期的な往診があり、家族さんの要望に応じて他の医療機関への受診や入院も支援している。</p> <p>(外部評価) 定期的に協力医や歯科医師の往診がある。連携している母体法人の看護師から教えてもらった「ゴーヤジュース」を試してみられ、利用者の便秘の解消になっているようだ。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 週1回の看護師訪問があり、日常の些細な点も相談したり、情報を伝えたりして適切なアドバイスを頂いている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院は母体の病院になる事が多く、医師往診や看護師訪問に情報交換は出来ている。又、医療情報課を通し相談も出来るようにしている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化すると母体への病院への入院となる事が多い。契約時には、終末期のケアの説明は充分に行なっている。</p> <p>(外部評価) 現在は、ご家族等の希望もあって最期は、母体病院に入院となる場合が多いようだ。これまで事業所で看取りを支援した事例はないが、事業所での看取りの希望があれば、ご家族、主治医、看護師、管理者で話し合って今後のことについて話し合っておられる。法人内のグループホームが看取り支援を行ったことを機に、今後は、事業所でも利用者、ご家族からの希望があれば看取り支援に取り組んでいきたい、と考えておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 附帯施設での勉強会への参加で学ぶ機会はあるが全職員での訓練を行なう機会は少ない。個々に実践力を身につけるように努めてはいる。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域との協力体制は推進会議を通して呼びかけとお願いはしている。年2回の避難訓練や 災害マニュアルを作成しスタッフがいつでも見る事が出来るよう設置している。 (外部評価) 夜間想定で避難訓練を行った際には、事前に出火場所を知らせずに実施したところ、職員は対応することの難しさを実感されたようである。実際に夜間に職員が集まるような訓練も行っておられ、地元の職員が多いこともあり、日中より早く駆け付けることができることが分かったようだ。	事業所の立地条件等も踏まえて、いろいろな災害を想定した訓練を重ねていかれることが期待される。又、地域の方達とのさらなる協力体制作りや、事業所の資源を活かして地域の方達とも協力し合えるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーの確保には努めてはいるが 職員によってバラツキがあり声掛けや対応にも改善すべきところはあ (外部評価) 管理者は、職員の利用者へのかかわりの中で気になるような場合には、個々に話す機会を作っておられる。昼食後、職員は利用者に「午後から何しますか」と相談され、午後からは、利用者それぞれがテレビをみたり、おしゃべりしたり、居室で休まれる等して過ごされていた。又、歌の得意な利用者の方が歌を口ずさむと、他の利用者の方も歌い始められ、又、職員も一緒に歌う等して和やかな雰囲気が感じられるひと時がみられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 場合によっては、職員のペースになってしまいがちな時があるが出来る限り利用者の声に耳を傾け事故決定出来るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の勤務体制や利用者の状態によっては全て希望に添 えない時があるが、本人の希望を聴き出来る限り希望に添え ている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 入浴時の洋服選びなど 外出時には 衣服の汚れなどを確 認して出かけて頂いている。月に1回の出張理容を利用して 頂いている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の下ごしらえやお盆拭き かたづけなど 利用者さん の状態を見ながら声掛けし協力して頂いている。  (外部評価) 法人内の系列グループホームが合同で、3ヶ月ごとに交代で 献立を決めておられる。いろいろなメニューが楽しめることで 利用者の食欲も高められているようだ。利用者が「今日の献 立」をホワイトボードに書いてくださり、利用者や職員はそれ をみたり、話題にして、食事を楽しみにされている。利用者 は職員と、もやしの根とりや野菜を切る等されたり、調査訪問 時には、食器の片付けや台拭きを行っておられる方もみられ た。利用者個々の状態に合わせて食材を小さく切ったり、ミ キサーにかけたりして、食べやすいように調理されていた。ご 家族からいただいたブルーベリーの苗を中庭で育てておら れ、調査訪問時にはヨーグルトに手作りしたジャムを添えて 出していただいた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は介護記録に記入しスタッフが把握出来る ようにしている。又、水分補給時には、個人の好みに合わせ て牛乳、コーヒー、ジュース等をお出ししている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアは毎食後に行っている。その時の利用者の状態に 合わせて無理時はせず その時は時間をずらして支援して いる。義歯洗浄は随時行なっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) パットや紙パンツばかりに頼らず日中は本人さんの状態や排泄パターンを把握しながら快適な排泄が出来るように努めている。 (外部評価) 日中は、できるだけトイレで排泄するよう支援されている。夜間、トイレまでいくことが難しいような利用者は、ベッドの脇にポータブルトイレを置いて使用されている。入・退院で状態が変わった場合でも、状態が改善されるような支援に努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 下剤や浣腸ばかりに頼らず 自然な排泄に向けての対策を考えている。野菜ジュース、牛乳の飲用や体操などで身体を動かして頂いている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 職員の勤務状況や利用者さんの状態によっては希望通りにはいかない時があるがおおむね2,3日に1回は入浴して頂いている。体調不良で入浴が難難な場合は清拭等で清潔保持に努めている。 (外部評価) ご自分で浴槽で温まることのできる利用者は午前中に入浴されている。介助が必要な利用者は、午後から併設デイサービスのリフト浴で入浴をされており、両ユニットから職員が1名づつ介助に就くようになっている。入浴に気が向かないような利用者もおられるが、入浴の時間をずらしたり、言葉のかけ方等も工夫して入浴につながるよう支援されており、利用者は入浴後は、「気持ちよかった」と笑顔がみられるようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 本人さんの意思や希望を聞きながら食堂のソファでゆっくりくつろいで頂いたり居室で休まれたりしている。又 空調温度にも気をつけて安眠できるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 介護記録には薬の効能、用法、用量などを記入しており、又、薬情も一緒にファイルしているのいつでも再確認が出来るようにしてある。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者さんに合わせて出来る作業や好みの作業には無理の無い程度に参加して頂き職員との日々の関わりの積み重ねで楽しみを共有している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 職員の勤務体制から 可能な時間には 買い物やドライブや散歩など戸外に出かけられるようにしている。家族や地域の方々とのお出かけの機会は少ない。	
			(外部評価) ドラッグストアにお菓子や日用品を買いに出かけたり、おやつを買いに出かけることもある。近くの桜のきれいな公園へのお花見は、併設デイサービスの車を利用し全員で外出された。桜を愛でたり、写真を撮る等して楽しまれ、利用者の体調にも配慮して事業所に戻って食事をされた。	現在、利用者の重度化のこともあり、又、職員数の制限もあって外出支援に難しさもあるようだ。外に出ると笑顔がみられるような利用者も多く、今後さらに、ご家族や地域の方、ボランティア等、いろいろな方の協力も得ながら利用者が外に出て楽しめるような機会作りに取り組んでいかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 殆んどの方は所持 管理はされていない。必要な物品があれば家族の了解のもとホームの立て替え金を利用したり、家族が持ってこられたりしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族に電話をかけたい時や 家族さんに書いた手紙を郵送したりするときには それぞれに支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関や食堂には季節感を取り入れた壁画やカレンダーを飾っている。玄関先や中庭にも季節ごとの花と一緒に育て成長を楽しんでいる。又、温度調節には気を配り ゆったりと安心できる空間作りに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関の水槽には、地域の夏祭り時に夜店ですくった金魚や珍しい金魚が泳いでいる。居間や居室から中庭の草木を眺められ、季節の移り変わりを感じることができるようになっている。居間からテラスへは段差がなく、ご自分で出ることができるようになっており、職員と一緒に洗濯ものを取り込んだり、日向ぼっこ等をされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂、廊下には 利用者同士でも座れるようにソファを設置している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室には 備え付けのタンスやベッドが設置してある。荷物をおく場所は限られているが 馴染みの道具 又 冷蔵庫やテレビなど家族さんが持ちこんでおられ 写真等も貼られて 本人さんらしい居室になるよう工夫されている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の窓からは、中庭の草木を眺めることもできて、風通しのよい空間となっている。ご家族の写真や家系図を貼っておられたり、たくさんのアルバムを置いておられるような居室もみられた。車いすのまま洋服を選んだり着替えができるよう、洋服をかけるハンガーラックの高さを調整されている。ご家族が足こぎ運動のための健康器具を持って来られて、ご家族と一緒に運動をされている利用者もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>全てにおいて安全な環境作りにはなっていない部分もあるが居室やトイレには目印となる張り紙を工夫してかけており利用者さんが安心、安全に生活が送れるように出来る限りの工夫に努めている。</p>	